

彫刻家石田光男氏作「母子像」を寄贈していただきました

あぶくま信用金庫では、地域の皆さまに文化や芸術に親しんでいただくことを目的に、本店営業部3階に「ふれあいギャラリー」を設けております。

このたび、南相馬市の彫刻家・石田光男氏の木彫作品を、ご息女である後藤京子様より寄贈していただきました。本作品は、木の温もりと母子の慈愛を感じさせ、見る人の心にやさしく寄り添う作品です。このような貴重な作品をご寄贈いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

寄贈いただいた「母子像」は、本店営業部3階「ふれあいギャラリー」に常設展示いたしました。



「母子像」

1963年 (H183W40D40)

ふれあいギャラリーには、他に安堵蒼樹氏の日本画と中島敏明氏の油彩画を常設展示しており、どなたでもご覧いただけます。地域の皆さまはもちろん、当金庫をご利用の際やお近くにお越しの際にも、自由にお立ち寄りいただき、実際にご覧になって地元芸術家の作品をお楽しみいただければ幸いです。

【石田光男（いしだ みつお）氏 プロフィール】

1929年東京都世田谷区生まれ。多摩美術大学卒業後、彫刻家・佐藤助雄氏に師事。

日展を中心に活躍し、特選をはじめ数々の受賞歴を持つ。日展審査員、評議員などを歴任。

1958年 日展「若い女」初入選

1973年 日展「夏の午後」特選授賞

1978年 日展「通りすぎた女」特選授賞

1995年に福島県原町市（現南相馬市）にアトリエを移す。

2004年に原町第一小学校へ「なかま」を寄贈。

2016年、南相馬市にて逝去。

あぶくま信用金庫は、今後も地域に根ざした金融機関として、文化・芸術を通じた地域交流の場づくりに取り組んでまいります。



あぶくま信用金庫